

## 朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）

### 内閣拡大総会開催

2013年4月22日発『朝鮮中央通信』によれば、同日、内閣拡大総会が開催された。同総会には、朴奉珠総理をはじめ内閣のメンバーが参加したほか、関係機関の幹部らがオブザーバーとして参加した。

同総会では、1. 金正恩第1書記が党中央委員会2013年3月総会で示した経済建設と核武力建設を並進させることに関する戦略的路線を徹底的に貫徹することについて、2. 金正恩第1書記が全国軽工業大会で行った結語に示した綱領的課題を徹底的に貫徹することについて、3. 今年の第1四半期人民経済発展計画遂行状況の総括と第2四半期人民経済発展計画の遂行のための対策について一を討議した。1と2に関する報告を朴奉珠総理が、3に関する報告を全勝勳副総理が行ったほか、問題に対する討論が行われた。

同総会ではまた、党の並進路線貫徹のための課題と方途が示された。

### 新鴨緑江大橋の建設「順調」

2013年4月27日付『朝鮮新報』は、北朝鮮の新義州と中国の丹東をつなぐ新鴨緑江大橋の建設が順調に進んでいることを現地のメディア報道を引用して報道した。

報道によれば、新鴨緑江大橋は、長さ3.03km、幅33m、往復4車線の懸垂橋となり、現在、橋の主塔がすでに完成し、橋本体にコンクリート床板を設置する作業が進められており、2014年7月に開通する見通しだという。

### 平壤市内に高級食堂を含むサービス施設が竣工

2013年5月15日付『朝鮮新報』によれば、同月3日、東平壤に「ヘダンファ（はまなす）館」が開館した。ヘダンファ館は、浴場やサウナ、プール、レストラン、ショップなどからなる総合サービス施設で、1階に総合受付案内とショップ、8つの食事室、2階に2つの宴会場と鉄板焼き店、10余りの食事室、3階に浴場とプール、4階にサウナや休憩室、売店、トレーニングジム、卓球場、プールバー、理髪及び美容室、エステルーム、マッサージルーム、5階に料理の電子図書閲覧室、講義室、料理実習室、6階にコーヒーショップがあるとのことだ。

ヘダンファ館の経営者は、これまで中国やオランダで「ヘダンファ」という名の食堂を運営して、朝鮮料理や民族の料理文化を広く宣伝してきた。国内にサービス施設を展開したのは今回が初めてとのこと。

### 金正恩第1書記、朝鮮式経済管理方法の完成に高い関心

2013年5月17日付『朝鮮新報』によれば、北朝鮮では最近、経済建設と核武力の建設を並進させる戦略的路線の貫

徹に国を挙げて取り組む中、社会発展の要求に即して「ウリ（われわれ）式の経済管理方法」を研究、完成させるための事業が行われており、この事業は、金正恩第1書記の関心の下、国の経済司令部である内閣が生産現場と緊密に連携を取り、徹底した協議に基づいて展開されているとのことだ。

金正恩第1書記は2012年4月6日、朝鮮労働党中央委員会の責任幹部たちとの談話で、経済事業において社会主義原則を固守し、生産と建設の担当者である勤労者の責任と役割を高め、生産を最大限に伸ばすことについて指摘した。

北朝鮮国内では昨年、工場、企業所、協同農場が内閣の指導の下で独自に、創発的に経営管理を行うための新たな措置が、一部で試験的に実施されているとのことだ。

「ウリ式の経済管理方法」を研究、完成する事業は、金正日総書記の意図を具現するための事業とのことだ。北朝鮮では2002年以降、社会主義の原則を守り、最大の実利を実現する方向で経済管理を改善する事業が推進されてきた。金正恩第1書記は、チュチェ思想を具現した「ウリ式の経済管理方法」を研究、完成することをとくに強調している。第1書記は、内閣の関係者や学者らに研究課題を提示し、そのための具体的な方向性を示したという。

記事の中で国家計画委員会のリ・ヨンミン副局長は、第1書記が提示した方向に沿って「内閣は、研究機関、経済部門と共に何度も国家的な協議会や討論会を開き、経済管理改善のための方法を研究しており、今もそれを続けている」と語る。協議会、討論会で出た「良い案」は、一部の生産現場に試験的に導入され、成果を確認した後、全国に一般化することになっていると指摘した。

記事の中で、リ副局長は、「ウリ式の経済管理方法」を完成させるには、今後、生産計画、価格調整、貨幣流通などさまざまな問題を解決しなければならず、それに合わせて法と制度を整備しなければならないと指摘した。

これらの協議会、討論会などでは、工場、企業所を活性化させる問題、国、工場・企業所、各生産者の責任と権限の分担を合理化する問題、経済構造の合理化の問題、経済発展の速度とバランスの調整の問題、経済発展戦略などが議題に上っているという。その中で、対外経済戦略も重要な研究課題だと指摘する。

### 平壤春季国際商品展開催

2013年5月13日発『朝鮮中央通信』によれば、同年5月13日～16日、平壤の三大革命展示館で平壤春期国際商品展（見本市）が開催された。『朝鮮新報』によれば、展示会には北朝鮮とドイツ、マレーシア、モンゴル、スイス、シンガポール、オーストラリア、イタリア、インドネシア、中国、ポーランド、台湾の140余りの会社と駐朝大使館が参加した。

（ERINA調査研究部長・主任研究員 三村光弘）